

# シエンタ モデリスタセレクション

## リヤスポイラー 取付要領書

(品番：D2644-48510) 型式：N#P17#G

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、リヤスポイラーの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行ってください。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか確認して下さい。
- 車両が動かないよう、エンジンを切り、車止め等をして作業して下さい。
- 開梱時、同梱部材の有無、製品本体の不具合が無いか、取り付け前に確認して下さい。
- リヤスポイラーを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へリヤスポイラーを取り付ける際は、**左右1名ずつ2名で作業**を行って下さい。また、仮組み等の際、マスキングテープ等で車両への傷つき防止対策を実施して下さい。
- 重要** ■ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。取り付けが確実に行えます。(PAC プライマー N-200 を本品に同梱)  
プライマーの効果を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置**し乾燥させて下さい。
- 重要** ■ 両面テープは、外気温が**15℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行って下さい。
- 両面テープ用プライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープ用プライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗布面以外をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。(必ずマスキング、なるべく細かい番手で行って下さい。)
- ボディーコートが塗布されている車両は、脱脂作業を行っても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。  
ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行って下さい。
- 重要** ■ 両面テープの圧着を充分に行って下さい。**500kPa (5kgf / c㎡以上)**
- 重要** ■ リヤスポイラー下面部のボルト本固定は、両面テープ貼り付け後、3時間以上放置後、行って下さい。

### 取り付け完了後の点検・注意事項

- リヤスポイラーが、車両に確実に装着されているか確認して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか確認して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスポイラー及び車両部品に傷がついていないか確認して下さい。
- 取り付け完了後、**3時間程度**は強い力をかけたり、濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両とリヤスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

取付要領書には下記マークを使用しております。



**注意**

この取付は特に重要な項目です。必ず読んでお守り下さい。  
守らないと傷害や事故につながるおそれがあります。



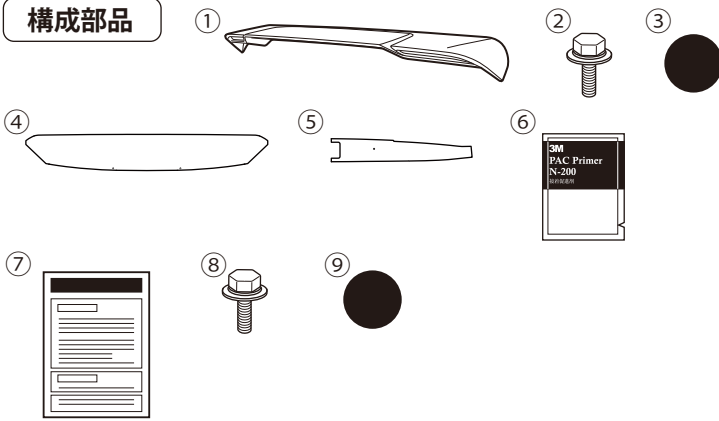
**アドバイス**

この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

# モデルスタバージョン

# リヤスポイラー

## 構成部品

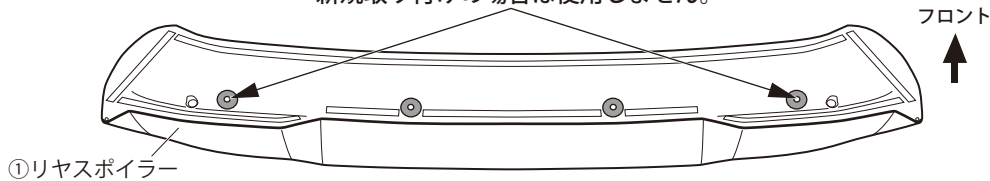


No.	品名	個数
①	リヤスポイラー	1
②	ボルト (M6×15)	2
③	シール	2
④	型紙 a	1
⑤	型紙 b	1
⑥	PACプライマー N-200	1
⑦	取付要領書	1
◆補給対応 ※ボルト固定4ヶ所止め車両の場合に使用		
⑧	ボルト (M6×15)	2
⑨	シール	2

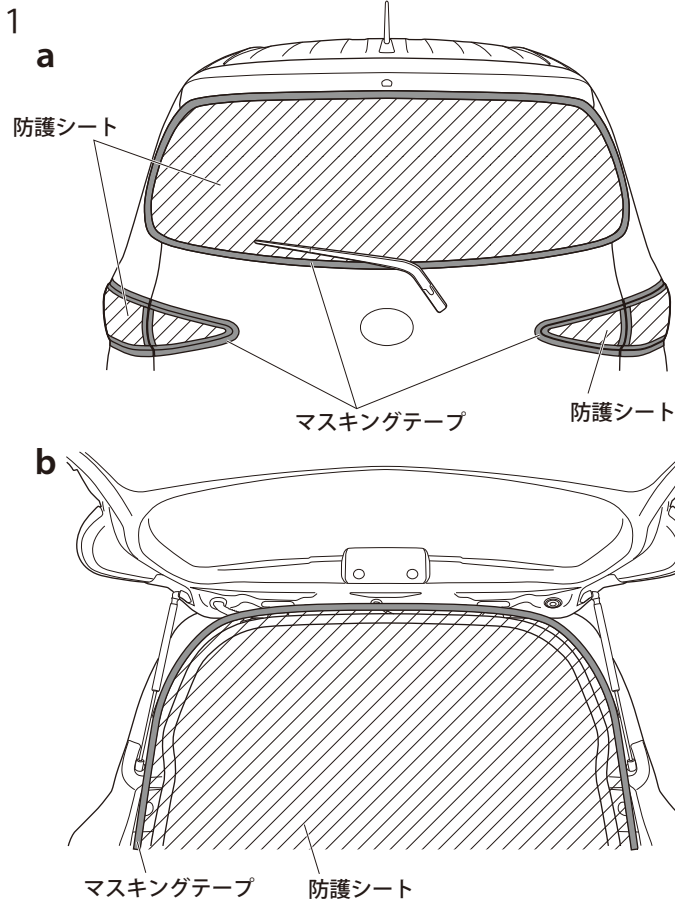
従来製品に対してボルト固定箇所が2ヶ所に変更となりましたので、下記手順に沿って作業をお願いします。過去のボルト固定4ヶ所止め車両に対する再取り付けの場合は同梱のボルト、シールを使用して従来通り4ヶ所締結をお願いします。

[裏面視]

この2ヶ所は補給対応用のナットです。  
新規取り付けの場合は使用しません。



# 取付手順

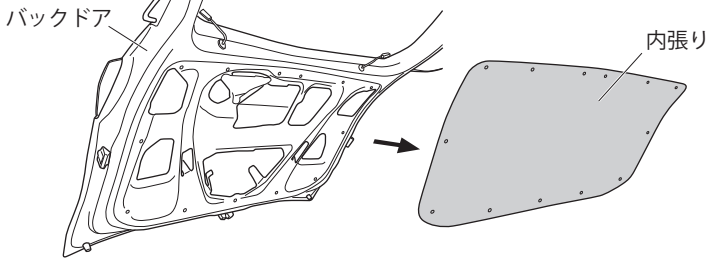


- 左図に従い穴あけ作業時の切り粉が車内および各部位の隙間にに入らないよう、防塵処置をする。
  - a : 車体、リヤガラス、テールランプ等にキズを付けないよう、防塵処理をする。
  - b : バックドアを開け、防塵処理をする。

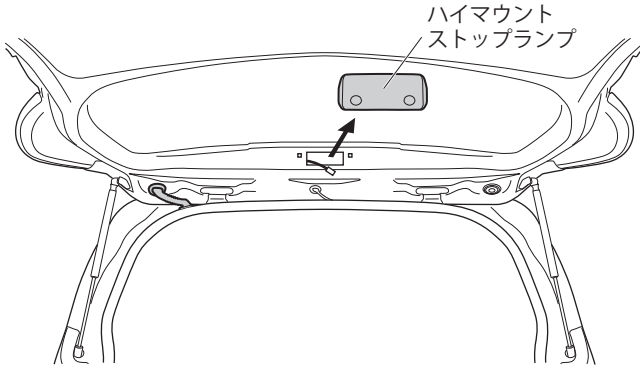
## ⚠ 注意

※バックドア上面を穴開け加工するため、作業範囲周辺のキズ付き防止処置を施してください。その際にバックドアは開閉できるようにしてください。

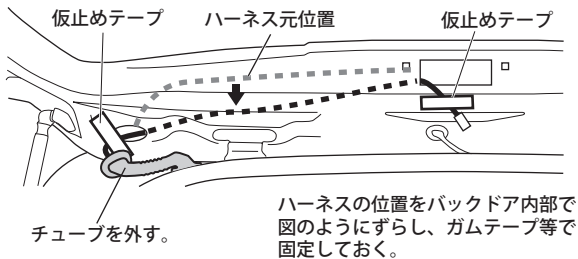
2



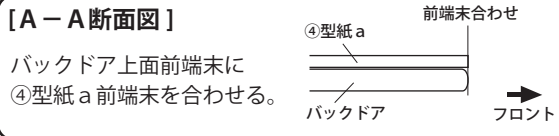
3



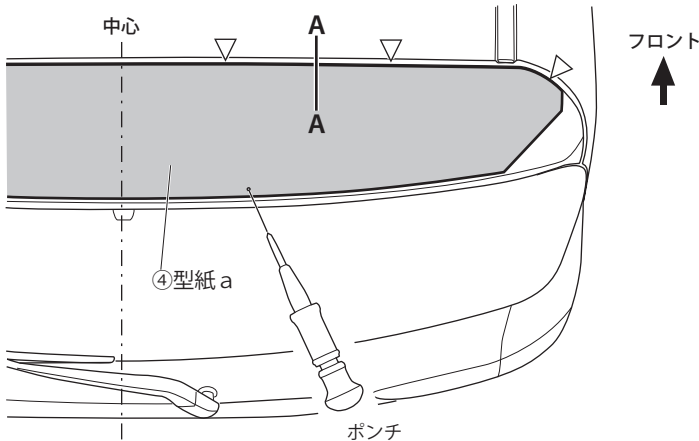
[拡大視]



4、5



[上面視]



2. 修理書に従いバックドアの内張りを取り外す。

3. 修理書に従いハイマウントストップランプを取り外す。  
左図のようにハーネスを移動し、出口部でガムテープ等で固定する。

⚠ 注意

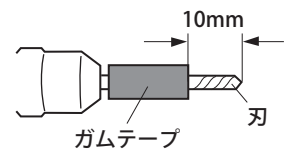
※穴あけ作業時にバックドア内部のハーネスにドリルの刃等が干渉しないよう、必ずハーネスを移動させてください。

この取付手順は右側で示してあります。左側も同じ要領で作業してください。

- 4. 左図に従い、バックドア上面に④型紙 a を使用しポンチ等で穴位置をマーキングする。(2ヶ所)
- 5. ④型紙 a を外し、マーキングに対して  $\phi 2 \rightarrow \phi 4 \rightarrow \phi 6$  の順に下穴を開け、 $\phi 8$  の本穴を2ヶ所開ける。

📖 アドバイス

※穴開け作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



⚠ 注意

※バックドア内部に切り粉が入らないようにハイマウントストップランプ取り付け穴からホースを付けた集塵機等で切り粉を吸引しながら穴開け作業を行ってください。

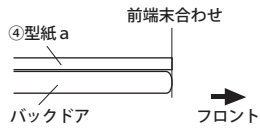
⚠ 注意

※穴開け後は、必ず穴周囲のバリを取り除いた後にタッチアップ処理を施してください。

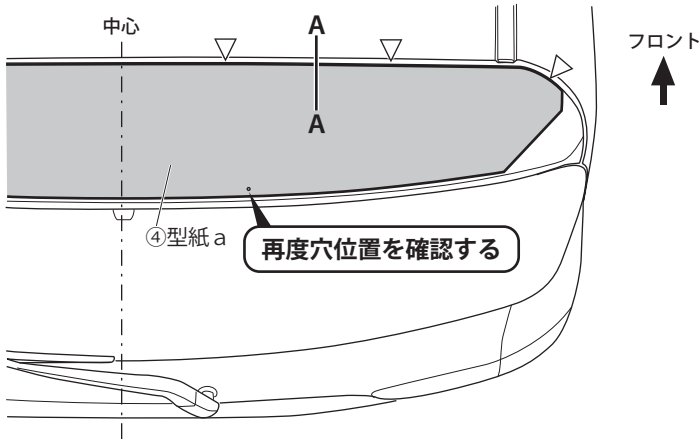
6

[A-A断面図]

バックドア上面前端末に  
④型紙 a 前端末を合わせる。

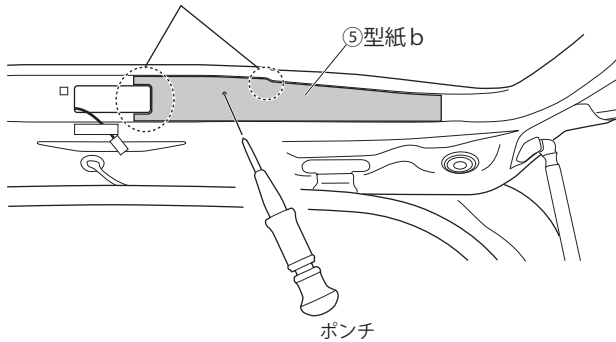


[上面視]



7、8

パネル形状に合わせる



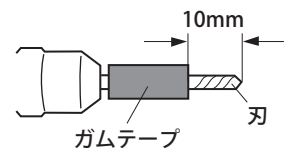
6.  $\phi 8$ 穴あけ加工後、再度④型紙 a を左図の通り置き、加工した穴が正確に開いているか（センターが出ているか）を確認する。

7. 左図に従い、バックドア内側上方に⑤型紙 b を使用しポンチ等で穴位置をマーキングする。（2ヶ所）  
（左側は、型紙を表裏逆にして使用する）

8. 型紙 b を外し、マーキングに対して  $\phi 2 \rightarrow \phi 4 \rightarrow \phi 6$  の順に下穴を2ヶ所開ける。

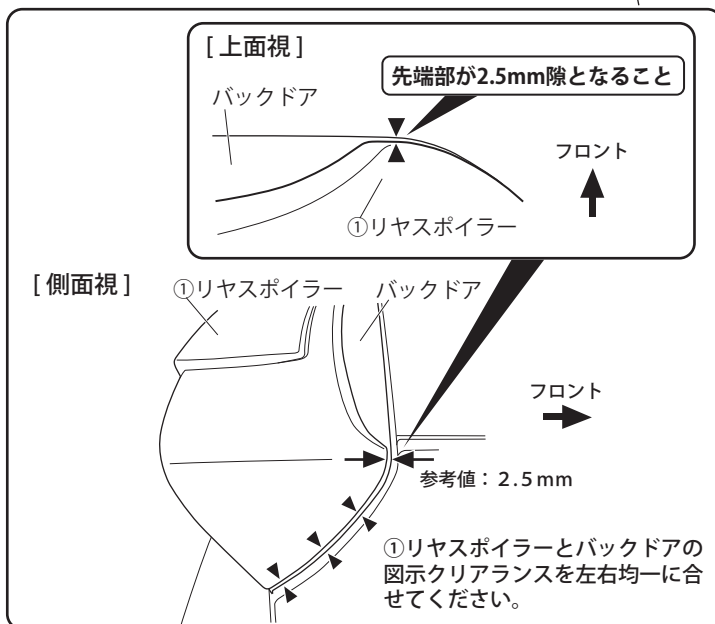
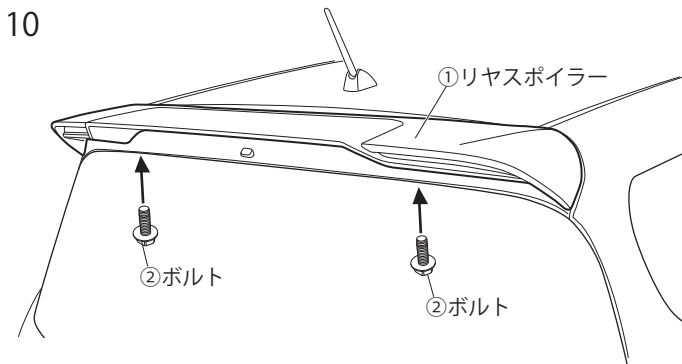
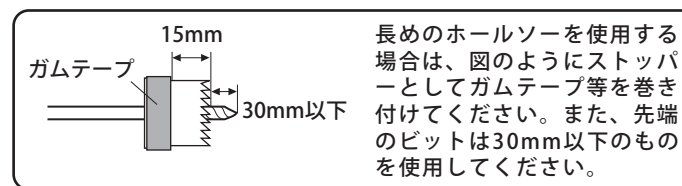
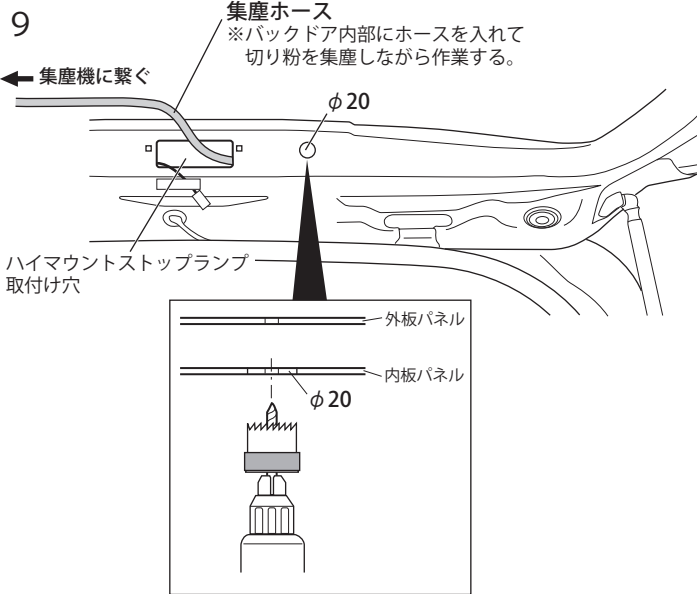
📖 アドバイス

※穴開け作業の際は  
ドリルの刃にガム  
テープ等を巻き、  
貫通防止策を施し  
てください。



⚠️ 注意

※バックドア内部に切り粉が入らないようにハイマウントストップランプ取付け穴からホースを付けた集塵機等で切り粉を吸引しながら穴開け作業を行ってください。



9. 左図に従い下穴2ヶ所にφ20の穴を  
ホールソーで開ける。

⚠ 注意

※バックドア内部に切り粉が入らないよ  
うにハイマウントストップランプ取付  
け穴からホースを付けた集塵機等で切  
り粉を吸引しながら穴開け作業を行っ  
てください。

⚠ 注意

※ホールソーは穴開け面に対して垂直に  
保持しながら穴開けしてください。

⚠ 注意

※穴開け後は、必ず穴周囲のバリを取り  
除いた後にタッチアップ処理を施して  
ください。

⚠ 注意

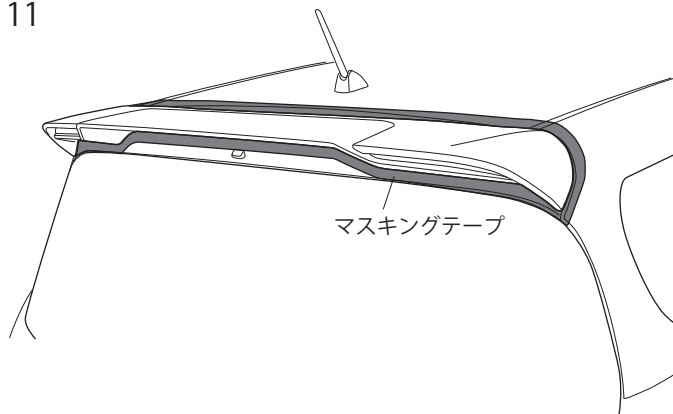
※穴開け後は、ハイマウントストップラ  
ンプ取付け穴から集塵機およびマジッ  
クハンド等で再度切り粉を除去してく  
ださい。

10. ①リヤスポイラーを車両に仮当てし、  
位置を正確に確認したうえでバックド  
アにマスキングテープ等でスポイラー  
が動かないように仮固定してバックド  
ア内側から②ボルトを仮締めする。

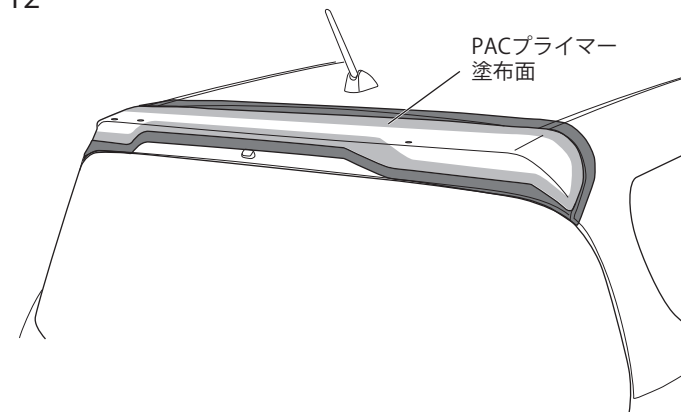
⚠ 注意

※車両への取り付け位置はリヤハッチに  
対しての製品位置（左図寸法）を正と  
して当て、その位置でリヤハッチ裏側  
から取付け穴（φ8）を覗き、製品側  
ナットが見え、ボルトが刺さることを  
確認してください。

11



12



11. 仮当てした①リヤスポイラーの周囲に合わせて左図のようにマスキングテープを貼り付ける。

12. 車両から①リヤスポイラーを取り外し、バックドア上部の両面テープ貼付け面に⑥PACプライマー N-200 を塗布する。

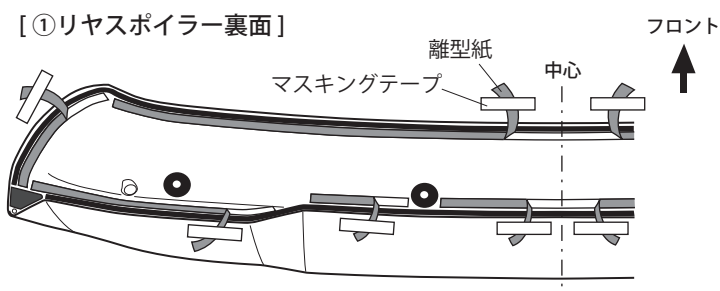
**! 注意**

**PACプライマーN-200の使用について**

- ※ 塗装面を黄変させますので、マスキングを行いはみ出さないようにし、万が一はみ出した場合はアルコール等で確実に拭き取ってください。
- ※ 塗布後は常温で10分以上放置し、乾燥させてから作業に入ってください。
- ※ ボディーコートを処理されている車両はマスキングをして両面テープ貼付け面を塗装用コンパウンドでコーティングを除去してください。

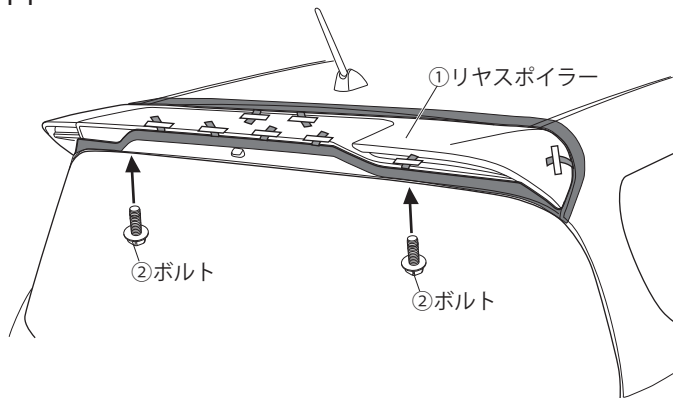
13

[①リヤスポイラー裏面]



13. 両面テープの離型紙をめくり、①リヤスポイラー表面に折り返してマスキングテープで固定する。(10ヶ所)

14



14. 取り付け位置を確認しながら①リヤスポイラーを車両に合わせ、バックドアの内側から②ボルトを仮締めする。

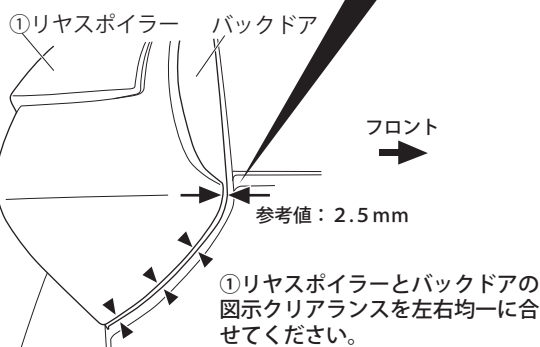
**!** 注意

※車両への取り付け位置はリヤハッチに対しての製品位置（左図寸法）を正として当て、その位置でリヤハッチ裏側から取付け穴（φ8）を覗き、製品側ナットが見え、ボルトが刺さることを確認してください。

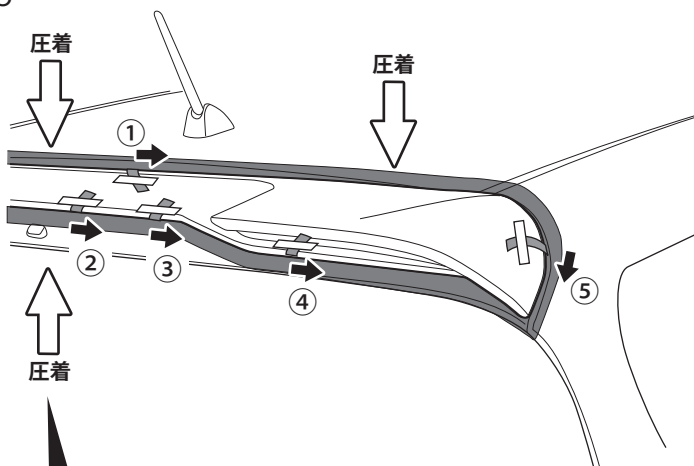
【上面視】



【側面視】



15



15. ①リヤスポイラーの位置を確認し、左図の順番で左右交互に離型紙を引き抜きながら500kPa（5kgf/cm<sup>2</sup>）以上の力で圧着する。

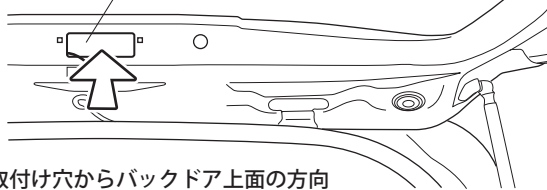
**!** 注意

必ず指定順番にて左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・はがれの原因となる可能性があります。

**!** 注意

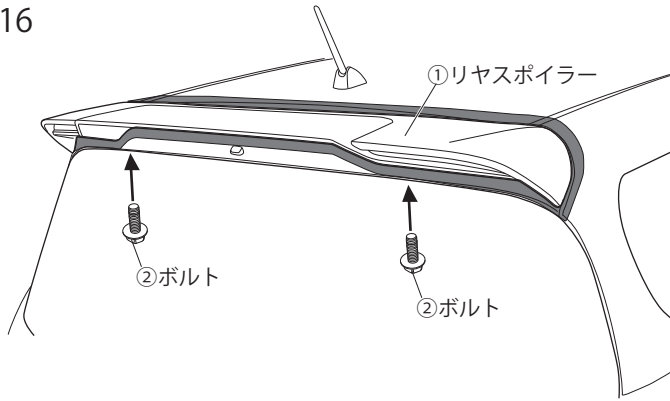
※バックドア上面およびバックドア内側のハイマウントストップランプ取付け穴等から上下双方から押し、確実に圧着してください。

ハイマウントストップ  
ランプ取付け穴




取付け穴からバックドア上面の方向へ押すように圧着してください。

16



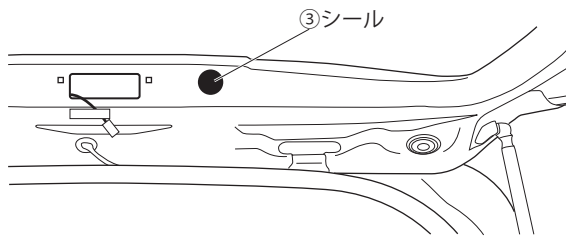
16. 両面テープ貼付け後、3時間以上放置してから仮締めしていたバックドア内側から②ボルトをトルクレンチにて本締めする。

 **アドバイス**

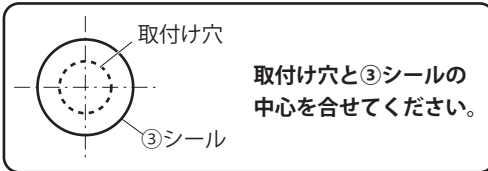
**②ボルト締め付けトルク**

**6.0 N・m**

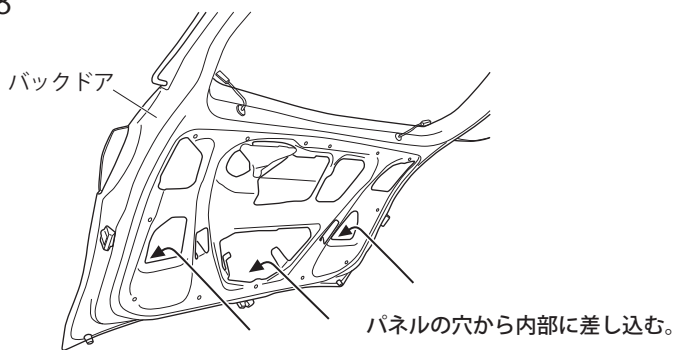
17



17. バックドア内側の取付け穴周囲を脱脂して③シールを貼り付ける。(2ヶ所)

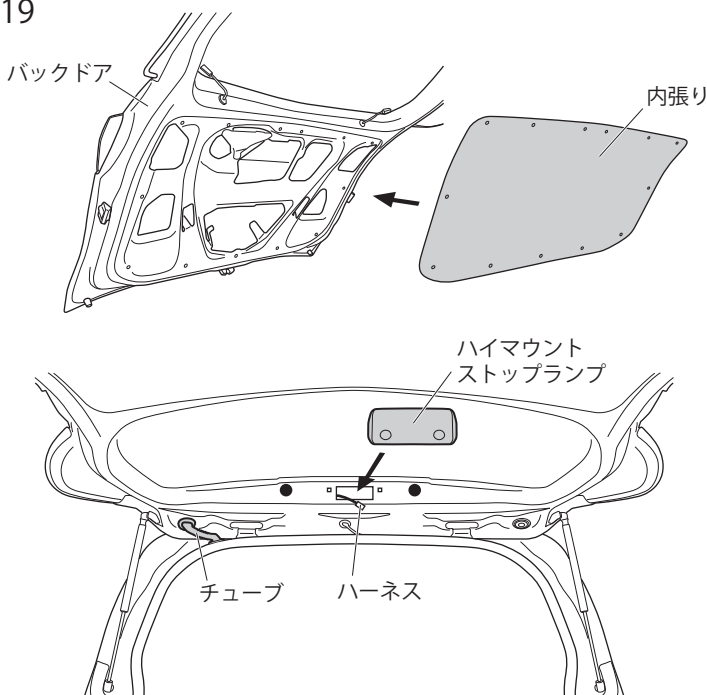


18



18. バックドア内側の穴から集塵機のホース、マジックハンドを入れてバックドア内部に残った切り粉を除去する。

19



19. 内張りおよびハイマウントストップランプを修理書に従い取り付け、ハーネス、チューブを元に戻す。

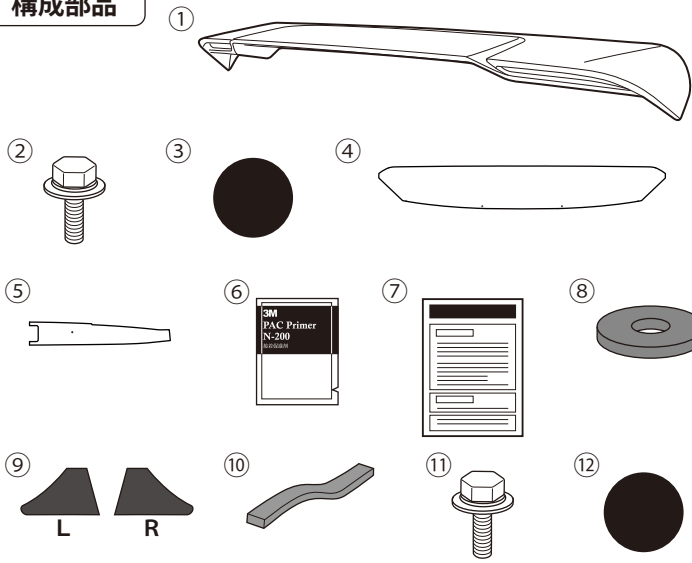
20. 車両に貼り付けたマスキングテープ、養生を全て剥がす。

21. ハイマウントストップランプの作動確認をする。

22. 取り付けがしっかりと行われているか確認し、両面テープ貼付け部を再圧着する。

# リヤスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品

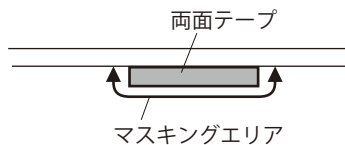


No.	品名	個数
①	リヤスポイラー	1
②	ボルト (M6×15)	2
③	シール	2
④	型紙 a	1
⑤	型紙 b	1
⑥	PACプライマー N-200	1
⑦	取付要領書	1
⑧	パッキン	4
⑨	ゴム板 (L/R)	各 1
⑩	クッション	4
◆補給対応 ※ボルト固定4ヶ所止め車両の場合に使用		
⑪	ボルト (M6×15)	2
⑫	シール	2

## ① 塗装作業

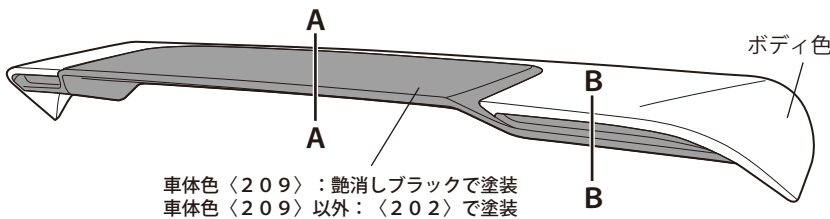
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行ってください。
2. プライマー塗装を行ってください。
3. 本体を塗装してください。  
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。  
塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させてください。  
変形しない様、形状を保持して乾燥してください。
4. 両面テープおよびクッションの幅に合わせてマスキングしてください。

【断面図】

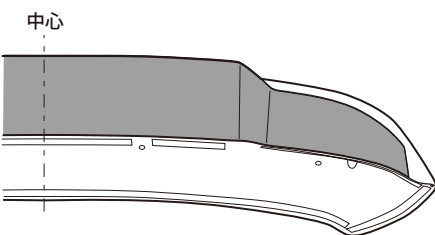


## アドバイス

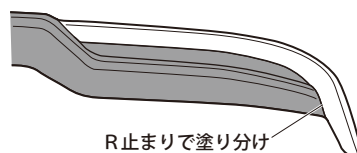
もしペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手 #600 以上で完了してください。



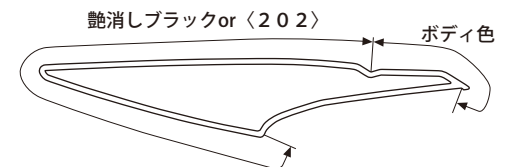
[下面視]



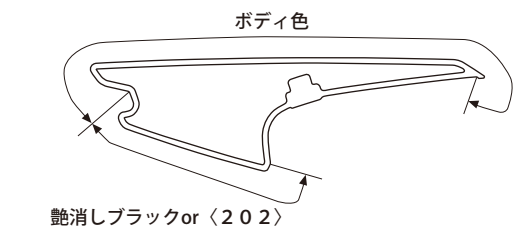
[後面視]



A-A断面図



B-B断面図



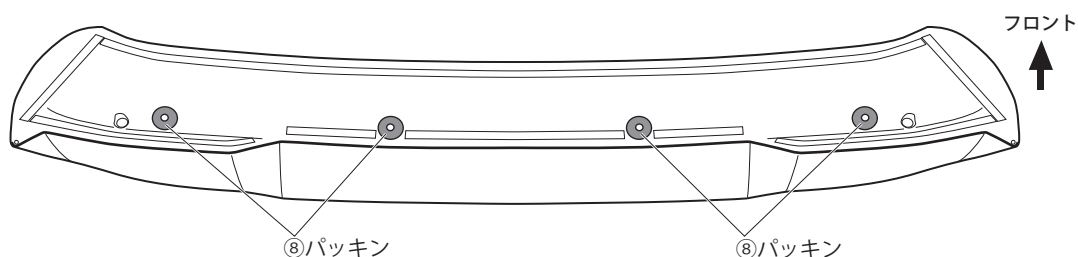
## ②貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑧パッキン、⑨ゴム板、⑩クッションを貼り付ける部分を脱脂し、⑥ PAC プライマー N-200 を塗布してください。  
⑥ PAC プライマー N-200 塗布後は、**常温で 10 分以上放置し乾燥**させてください。

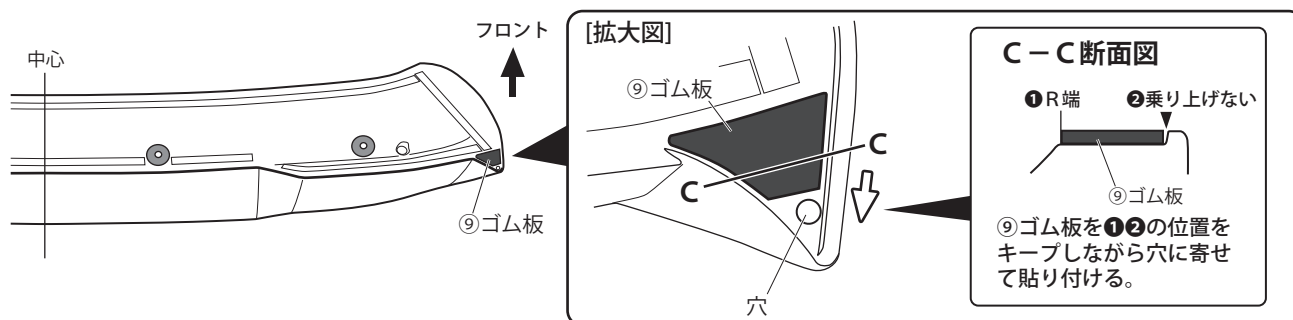
### アドバイス

PAC プライマー N-200はリヤスポイラー取り付け時に再使用します。  
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。  
PAC プライマー N-200 は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみ出した  
プライマーはアルコール等で拭き取ってください。

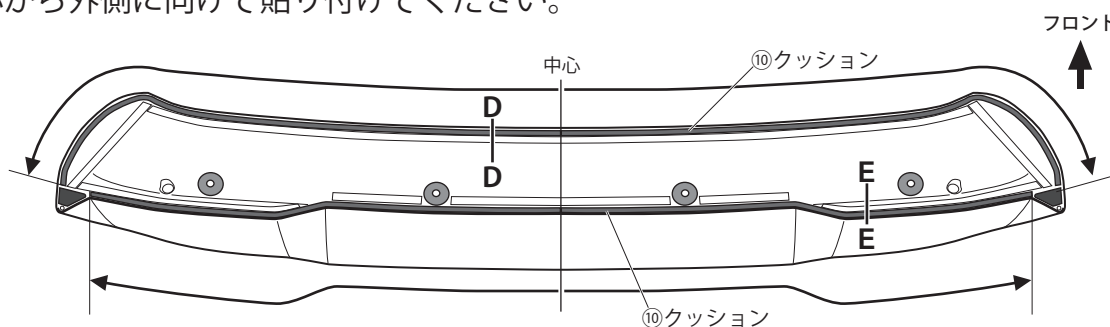
2. ①リヤスポイラー裏面の取付け穴を囲う様に⑧パッキンを貼り付けてください。（4ヶ所）



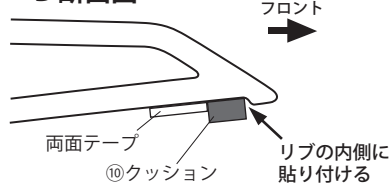
3. ①リヤスポイラー裏面左右後端部に⑨ゴム板を貼り付けてください。（2ヶ所）



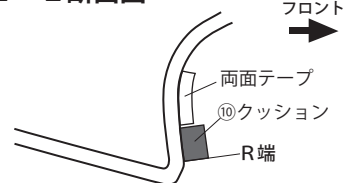
4. ①リヤスポイラー裏面外周の形状に沿わせて⑩クッションを貼り付けてください。（4ヶ所）  
※中心から外側に向けて貼り付けてください。



D-D断面図



E-E断面図



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
<http://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」

モデリスタコールセンター TEL 03-6361-1000